

グアム補習授業校
創立五十周年記念

未知標



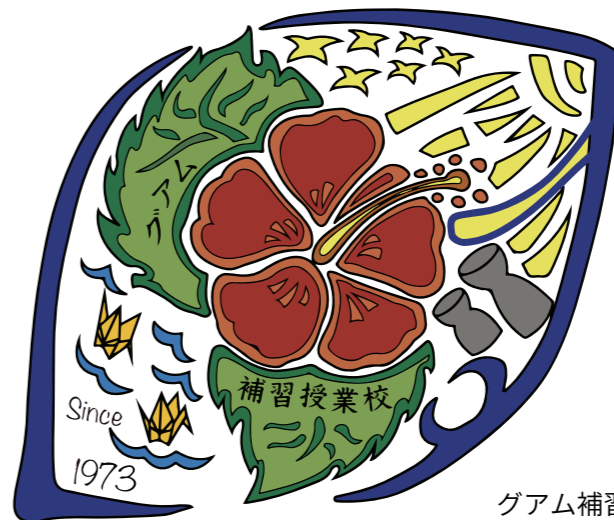
2022年度 グアム補習授業校



グアム補習授業校創立五十周年記念 「未知標」 目次

- 。 教育目標 1
- 。 校歌 1
- 特集
 - 。 学校理事長あいさつ 3
 - 。 学校校長あいさつ 3
 - 。 メッセージ（寄稿） 4
 - 。 沿革ーグアム補習授業校の歩み 4
 - 。 年表 9
 - 。 写真で綴る五〇年 15
 - 。 新入生と卒業生（年度別） 25
- 補習授業校の紹介
 - 。 学び舎 55
 - 。 校則 57
 - 。 時程と年間行事 59
 - 。 児童生徒数の推移グラフ 60

- 文集「ここなつ」第三七号
 - 。 小学部一年 64
 - 。 小学部二年 68
 - 。 小学部三年 78
 - 。 小学部四年 88
 - 。 小学部五年 94
 - 。 小学部六年 100
 - 。 中学部一年 104
 - 。 中学部二年 108
 - 。 中学部三年 112
- 「かえん樹」第九六号
 - 。 P T A 規約 141
 - 。 教員の変遷 143
 - 。 教職員・在校生名簿 144



グアム補習授業校校章（2022年10月制定）

「教育目標」

“ナニカデヒトヨリ”
 “ミンナデナカヨク”
 “ニコニコピンピン”



グアム補習授業校マスコット「シーター」（2022年10月制定）



グアム日本人学校校歌

作詞 片桐 悠爾
作曲 浜口 庫之助

一 まぶしい朝の
常夏の島に
日本のために
流そう汗を
新しい世紀の
ああ我が母校
光を浴びて
若葉は伸びる
世界のために
暑さに負けず
文化を担う
グアム日本人学校

二 ふたつの海を
緑の島から
日本のために
元気に進もう
新しい世紀の
ああ我が母校
東に西に
地球を眺む
世界のために
スクラム組んで
平和を担う
グアム日本人学校

三 またたく星を
果てなき宇宙の
日本のために
学ぼう共に
新しい世紀の
ああ我が母校
夜空に仰ぎ
不思議を思う
世界のために
月日を重ね
歴史を担う
グアム日本人学校

（一九八九年 十月二十一日発表）

補習校創立五〇周年に寄せて

学校理事會理事長 青木 一美



グアム日本人学校補習授業校設立五〇周年おめでとうございます。長きにわたり補習授業校をご支援をいただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。補習校で学んだ卒業生たちが地球規模で頑張っているお話をよく聞きます。学校責任者として大変うれしく思う次第です。

五〇年の歴史の中で私は補習校PTA会長を二度経験いたしました。息子が九年間お世話になり、当時厳しい担任の先生に家庭学習の大切さを教えられ、我が家でも宿題のサポートに追われた日々を懐かしく感じます。現地校と補習校の両立は今も昔も大変さは変わりません。本日に日々の学習と努力が不可欠だと感じます。五〇年が経過して今尚この学び舎で多くの子供たちが一生懸命勉強している姿を見ていると社会に出てからの輝かしい未来像が浮かんできます。補習校の更なる発展を祈念しご挨拶とさせていただきます。

グアム補習授業校

開校五十周年に寄せて

グアム補習授業校校長 佐藤 康隆



グアム補習授業校の開校五十周年に際し、誠に喜ばしく、ここにこれまで本校にかかわっていただいた数々の諸先輩方の業績に感謝するとともに、児童生徒の皆さんそして、保護者の皆様にお祝いを申し上げます。

さて、本校は一九七三年・昭和四八年日本では史上最多の出生数が記録されベビーブームとなり、その後続くバブルに向かって経済成長に邁進していましたがグアムにおける日本人社会も盛り上がりを見せていたことと察します。本校の児童生徒数も右肩上がりに増加の一途であったと伺います。その後、全日制の設立に本校からも多数の教職員が尽力し、両校がこれまでグアム日本人学校として共存して参りました。両校の共生については、校歌が共に同じであることから今後も末永くよい関係であり続けると信じております。

半世紀が過ぎ、多くの困難も乗り越えまた、ここ数年の新型コロナウイルス(COVID19)感染拡大も経て、現在は児童生徒数が六十名程になりました。グアムにおける日本人も多様な価値観をもつようになり、グアム日本人学校自体の在り方にも創意工夫が必要となっております。変えるべきことは、日々、様々なアイデアを日本人会や学校理事會、そして教職員で出し合い検討しています。また、変えざるべきこととして、伝統や方針、考え方も数多くあります。それら不易流行をしっかりと見極めこれからも本校、そして日本人学校が発展していくことを願ってやみません。



五十にして天命を知る、
そして次の五十年で

二〇二二年度補習校PTA会長

武石 大吾



グアム補習授業校、創立五〇周年おめでとうございます。

五〇年目という区切りの年に、補習校のPTAに関わらせて頂いたのは、何かの縁だと感じずにはいられません。学校に残っている卒業証書台帳によると、二〇二二年三月の卒業式までに小学部からは四八四名、中学部からは七〇三名の卒業生が、この学び舎から巣立って行っています。そして、二〇二三年三月の卒業式では、小学部から三名、中学部からは八名の新卒業生が、羽ばたいていきます。おめでとうございます。

海外駐在をしていると、日本人学校、補習校の存在は、日本人にとり、非常に重要で、そしてありがたい在外教育施設です。各自宅で幾ら日本語を使っているかと、補習校にて土曜日に学ぶ日本語、日本文化、平日に学ぶ算数・数学(九九は

日本語が一番)、書道、そして、日本人の友達との切磋琢磨は、子供の成長に非常に大きな影響を与えます。

私の補習校との初めての付き合いは、オマーン国の首都マスカットからでした。今、グアム補習校では九名の教諭と約六〇名の児童・生徒がいますが、オマーンでは全日制はなく、補習授業校には、文科省からの派遣の校長とオマーン日本人会が雇用した先生、加えて保護者がAT(アシスタントティーチャー)としてサポートして、学校を作り上げています。児童・生徒も小一から中三まで一〇名しかいません。中東アラブの国なので、週末は金曜と土曜。補習校は土曜日というのはグアムと変わりません。小さい学校の良いところは、子供の進度に応じて、授業内容をどんどん変えられること。中学校の授業では、高校受験対策なども行っており、帰国後に最高学府に進んだ子供たちも多くなります。

さて、今、グアムの日本人学校は、コロナの影響、日本の人口減、国力減の影響もあり、過渡期を迎えています。全日制も補習校も、コロナの影響もあり児童・生徒数が激減し、全日制は現在四〇名、補習校も五〇名。二〇二二年の学校運営収支は二三千ドルの赤字、ここに

体育館建設の銀行借入返済が加わるため年間収支は一三四千ドルの赤字。現在の体力(銀行残高)では、二〇二六年まではどうにかかなりそうですが、銀行借入は二〇二七年までですので、まずは今後五年間、園児・児童・生徒を増やし、加えて効率経営を行い、学校経営の健全化を早く図って頂きたいです。

モットーは、グアム日本人学校をグアムの日本語教育のメッカに。日本語能力検定試験(外国人向け検定試験)の指導を行うことで、ローカルの日本語教育ニーズを取り入れたり、日本人学校卒業生が、大学受験で優位になる日本語のAP(アドバンス・プレースメント)高校大学接続の早期履修プログラムでGPAの引き上げが可能)を取るための補助授業を行う等で、グアムならではの特色のある、そして皆に愛される日本人学校、グアム補習授業校になることを期待しています。

最近では人生一〇〇年と言われていますが、補習校はまだ五〇歳。まだまだ人生半ばです。是非、二〇七三年には一〇〇周年記念事業を行っていただき、そのころ一〇三歳の私も是非参加させて頂ければ幸甚です。

五〇周年の先へ羽ばたこう

日本人会教育部部長 権田 正



グアム補習授業校が二〇二三年で五十年を迎えます。一九七三年に当時の日本航空の会議室に開校されて半世紀が経つわけです。何もないといいるところから、子供達の教育を思い大変な苦勞をされた方々、またその意思に答えて日本語を忘れまいと一生懸命勉強された方々、そして今の補習授業校を支えておられるたくさんの方々と皆でこの五十年を共に祝いたいと思います。そして同時にこれから先の五〇年の土台をつくらなければならぬ大きな責任を感じています。コロナ禍の辛い三年が、先に横たわっていた補習授業校の課題を前倒しにし、学校維持の財政問題や、生徒の減少などの問題を突き付けてきています。日本文化の魅力を伝えながら、いかに日本語を覚えてもらうか。通いたいとおもう補習授業校にするにはどうしたらよいか生徒が多様化した現在においては、大きな問題です。しかし、ぶっつけ本番の運動会

をこなし、修学旅行で絆を深め、入学式、卒業式で共に校歌を歌ったことが、必ずこの先に広がる青空に羽ばたくすばらしい翼をくれます。学校を巣立ったらさらに大きく強い翼にして、五十年を越えた先の日本人学校補習授業校にたくさんの方々のエネルギーと希望を持ち帰ってきていただきたいと思えます。その道標になる五十年記念誌を作成してくださった方々に感謝いたします。

学校の大切さを教えるコロナ

第十六代校長 井澤 恒晴



創立五〇周年、おめでとございます。私は、二〇一七年一月から二〇二〇年一〇月まで、三年間お世話になりました。ちょうど、漢字検定・日本語検定を

活用した学習を起動に乗せようという時でした。この習熟度別学習は、国語力の個人差が大きい補習校にとって、ひとつの解決法であると思いい、充実に努めました。このユニークな取り組みを検証したかったのですが、最後のまとめができませんでした。その原因は、COVID-19 パンデミックです。グアムでは二〇二〇年一月から感染が広がり始め、補習校は卒業式を開催出来ないまま、その年度を終えました。皆が用心するなか、三月に日本人学校職員に感染・発症者が発生。私も濃厚接触の疑いで、自宅で二週間の自主隔離をする羽目になりました。



我が使命 海を越えて!!

スミス 八恵子



当時、補習校は電話のクラス連絡網しかありませんでした。これでは動きが遅いと思いメール連絡のリストを作成し始めました。日本語クラスを含めて全家庭のメールアドレスを探し出すことは、意外に手間取りました。一斉メール配信が可能になって、4月に教科書・教材の配布、5月上旬にリモート授業開始と、子どもたちの学習を再開することができました。この陰には補習校の先生方の多大な努力と団結がありました。コロナは私たちに学校の大切さを教えてくれました。ただ、学校再開の前に帰国になってしまい、子供たちに会えなかったことが心残りです。

一九八八年十月末日、私は結婚したばかりの主人と日本国総領事館へ行き、在留届の手続きをしました。

「スミスさん、来年四月から全日制の日本人学校が出来るのですが、現地の人で日本の教員免許を持っている人が居なくて、文科省から許可が出ないのです。スミスさん、日本人学校の教員になってもらえませんか?」

「ええー!」私は在留届を出しながら、もう二度と学校の先生と日本舞踊は出来ないものど心に言い聞かせていたのでした。そして、二、三日して、日本人会会長の山口氏とボダリオ久子先生にお会いし迷わず「やらせてください。」と即答。次の日から補習校で授業をすることにになりました。

当時、フジタホテルからタムニング小学校に移り、午後三時半から六時、火曜日から金曜日、土曜日は朝八時半から一二時半迄。しかし場所を借りているので、

授業の後はずぐに学校を出なければなりませんでした。一九九〇年四月からマンギラオの日本人学校の新校舎へ、全日制、補習校共に移って、ともに同じ職員室で勤務しました。両校の先生が同じ職員室に居ると云う事で良いことがあります。

- 一つ、同じ教室を使う教員同士で話し合いが出来ること、
- 二つ、お互いに問題を抱えていると立場の違う面で意見を出し合えること、
- 三つ、同じ学年同士で授業の交換が出来ること。

以上の三点の良き、今でもはつきり思い出します。

他方、今でも私の心に大きな穴となっているのは、ボダリオ久子先生が突然グアム日本人学校から姿を消されたことです。

海を越えて

世界に羽ばたけ

君の叡智よ



小さな教室から大きな一歩を



力武 哲哉

補習校の最初の印象は、「教室が小さいな」ということだった。子供たちの人数も一クラス十人足らず。「これならやりやすいな」と思ったものである。ところが、その思いはすぐに砕かれた。当然だが、ここはグアムである。日本人の学校とはいえ、少し様子が違う。

最初のしばらくは、子供たちも物珍しいのか、私の様子を伺っている。私は子供たちの真剣な眼差しに気を良くして、一方的に話しまくっていた。そんな授業が面白いわけではない。子供たちはすぐに本性を現わし、隣にいる友達と何やらヒソヒソ話をしだす。それは当然英語である。「これは一筋縄ではいかないな」。それから子供たちとの闘いが始まった。だが、年を追うごとに少しずつ要領がわかってくる。所詮は子供だ。つまり、純粹であり、素朴である。とくにグアムの子供たちには、そのことをつくづく感じる。つい英語を話してしまうのは、

日本語があまり得意ではない子供であるが、本当は彼らだつて真剣に日本語と格闘していたのだ。

それから、あつという間に十三年が過ぎた。いま振り返れば、たくさんの子供たちの顔が浮かんでくる。みんな笑い顔だ。日本語と闘った彼らは、今ごろどうしてるのだろうか。たまにはあの小さな教室を思い出し、そして明日からの大きな未来に一歩を踏み出してほしい。

補習校創立五〇周年に寄せて

片桐 悠爾



グアム日本人学校補習校授業校の創立五〇周年を心よりお祝い申し上げます。校歌を作詞する際に思い描いたことは、世界地図上では小さな点に過ぎないグアム島で学ぶ児童生徒の皆さんの中から、世界的に活躍するような大人物が出ることを願いました。また校歌の作詞は、補習



授業校と全日制の児童生徒の皆さん全員を対象に制作しました。末永く両校で仲良く歌い続けてください。時の流れは速いもので、グアム補習校設立から半世紀が過ぎました。人生は、単に時間の経過と見ることもできますが、私は人生を因果律（原因結果）で見えています。青春時代を大切に過ごすことがとても大事だと思うのです。皆さんには、勉強は勿論、スポーツでも芸能でも、自分の好きなこととことん打ち込み、一流を目指し、トップを目指して欲しいのです。打ち込んだ分だけ、極めた分だけ将来素晴らしい結果をもたらしてくれるでしょう。

親孝行を忘れず、何があるうとグアムのために、日本のために、世界のために、貢献できる人になってください。



補習校創設五〇周年に寄せて

遠山 重春



補習校創設五〇周年お祝い申し上げます。私の長女も五〇歳になり、今は無きフジタホテルの倉庫の二階に有りました補習校で大貫先生ご夫妻に三年間ですがご厄介に成っております。ボダリオ先生他にもお世話になったと思います。

一度大貫先生から「遠山さん、娘さんを家で補習をさせて下さい。」と言われてきましたが、私の妻はハワイ出身で日本語が出来ず、又、私はホテルの料理長の役職のため夜遅くまで勤務していた為に娘に日本語を教えることが出来ませんでした。大貫先生のご指導により、何とか日本語を少しですが話せるようになり、グアムの日本企業の旅行会社のツアーデスク勤務も致しております。長女いわく大貫先生ご夫妻は大変優しく、私もそう思っております。第一回秋祭りにも大貫先生ご夫妻を初め補習校生徒達もお祭りに参加していただきました。



建設期				育成期				
125	147	130	105	106	93	85		
1989	1988	1987	1986	1985	1984	1983	年	
【平成元】 \ 【昭和64】 【昭和63】		【昭和62】	【昭和61】	【昭和60】	【昭和59】	【昭和58】		
4	1	4	11	7	6	4	月	
<p>。横井庄一発見 日本人会を結成、教育部が設けられ日本語教室の開校を検討 (猪俣 陽子 ①)</p> <p>(日本) 沖縄返還 (日本) パンダ「カンカン・ランラン」一般公開 (上野動物園)</p> <p>日本航空空港事務所会議室にて日本語教室開校 (日曜日のみ) これがグアム補習授業校 (以下「補習校」) の始まりとなる (日本) 第一次オイルショック</p> <p>日本人会事務所の開設に伴いジヨイナスホテルに移転 (川辺 美弥子 ③)</p> <p>(世界) ベトナム戦争終結 セントジョーンズ校に移転し、日本語補習校として開校 第一回運動会開催 佐藤 真一 ④</p> <p>(日本) ロッキード事件 。超大型台風「パメラ」直撃</p> <p>。グアムと対馬が姉妹島提携 現地採用講師謝金の国庫援助開始</p> <p>(日本) 日本初の静止衛星打ち上げ成功 (日本) 王 貞治七五六号本塁打世界新記録達成</p> <p>(日本) 新東京国際空港 (成田) 開港 (世界) 日中平和友好条約調印 (世界) 世界初の体外受精誕生 (日本) 第二次オイルショック</p> <p>フジタホテルに移転 。第一回日本人会秋祭り開催</p> <p>(世界) イランイラク戦争開戦</p> <p>(世界) スペースシャトル「コロンビア」初飛行 グレイハンドドックレース場で運動会開催</p> <p>。読売巨人軍のグアムキャンプ (一九九二年まで) (日本) 五百円硬貨発行 (日本) カード公衆電話 (テレホンカード登場)</p>								
<p>(日本) 東京デイズニールランド開園</p> <p>(日本) 新札発行 (一万円・五千元・千円)</p> <p>(世界) プラザ合意</p> <p>「日本人会補習校規約」を制定 「グアム日本人会補習校」と改名 。日本人会秋祭りはイパオ公園で開催</p> <p>「グアム日本人会補習校PTA」発足 全校生の通知簿作成 (世界) チェルノブイリ原子力発電所事故</p> <p>文集創刊 (「ここなつ」の前身) 「補習校校舎建設委員会」設立</p> <p>PTA広報誌創刊 タムニングエレメンタリースクールE棟に移転 (六教室を借用) (世界) ブラックマンデー (株価大暴落)</p> <p>PTA広報誌「かえん樹 (火焰樹)」として第二号発行</p> <p>。大型台風「ロイ」直撃 日本人会総会にて日本人学校 (全日制) の設立を決議 「日本人学校設立準備委員会 (変更)」発足 (世界) イランイラク戦争停戦 。マイクロナシアモール開業</p>								
<p>校長 (指導者)</p> <p>大貫 周一 ⑤</p> <p>PTA会長</p> <p>渡辺 正雄 ⑥</p> <p>柿原 義夫</p>								
<p>(日本) 昭和天皇崩御「平成」に改元 日本人学校「アガナ日本人学校」開校式・第一回入学式 全日制と補習校に分離 (全日制はPICホテルの一室を教室として授業開始)</p> <p>(日本) 消費税 (三%) 実施 (世界) 天安門事件 (世界) ベルリンの壁崩壊 (世界) マルタ会談 (冷戦終結)</p> <p>ボダリオ 久子 ⑦</p> <p>石井 秀嗣</p> <p>新崎 盛弘</p>								

育成期				創設期				揺籃期				
80	81	69	65	31	31	28	28	(児童生徒数)				
1982	1981	1980	1979	1978	1977	1976	1975	1974	1973	1972	年	
【昭和57】	【昭和56】	【昭和55】	【昭和54】	【昭和53】	【昭和52】	【昭和51】	【昭和50】	【昭和49】	【昭和48】	【昭和47】		
9	9	4	10	9	7	5	3	月				
<p>校長 (指導者)</p> <p>PTA会長</p> <p>大貫 周一 ⑤</p> <p>佐藤 真一 ④</p> <p>川辺 美弥子 ③</p> <p>岡田 延代 ②</p> <p>猪俣 陽子 ①</p>												

143	157	152	142	128	122
1995	1994	1993	1992	1991	1990
【平成7】	【平成6】	【平成5】	【平成4】	【平成3】	【平成2】
		12 5 12		4 3	10 9 8 4 3

今年の漢字 (公益財団法人日本漢字能力検定協会)

1990年 日本人学校第一回卒業式 (全日制) 新校舎竣工式 (全日制・補習校とも現在地に移転) 校歌制定
 (日本) 東京株式市場が大暴落 (バブル崩壊)
 「グアム日本人学校理事会」発足
 スクールバス運行開始
 成人向け日本語教室開設
 。超大型台風「ラス」直撃
 。サントキヤツスル開業
 第一回フリーマーケット開催
 小学生向け日本語教室開設
 (世界) ソビエト連邦解体 (ロシア独立国家共同体誕生)
 。超大型台風「ユリ」直撃
 (世界) EC欧州連合条約 (マーストリヒト条約) 調印
 (日本) PKO協力法成立 (自衛隊をカンボジアに派遣)
 。超大型台風「オマー」直撃
 (日本) 日本人初の宇宙飛行士 (毛利衛) 宇宙へ
 (日本) 公立学校第二土曜日休み
 台風「ブライアン」接近
 大型台風「エルシー」接近
 大型台風「ゲイ」接近
 台風「ハント」接近
 アガナ日本人学校文部省認定校に認定
 「補習校創立二十周年記念誌」発行
 。M八・二大地震発生 (十八時二十三分)
 日本人学校多目的コート完成
 。グアム島戦五十周年日米合同慰霊祭
 。大型スーパーマーケット開業
 (日本) 新関西国際空港開港
 。DFSタモン地区に移転
 (日本) 阪神淡路大震災発生
 (日本) 地下鉄サリン事件
 (日本) 公立学校第二土曜日休み
 (日本) PHS (簡易型携帯電話システム) サービス開始

校長 (指導者)

PTA会長

ボダリオ 久子 ⑦ 園山 千恵子

中村 千代子

沖山 里子

リザマ 真理子

原田 洋子

イエン 悦子

校長 (指導者)

PTA会長

ボダリオ 久子 ⑦ イエン 悦子

久場 乙美

中村 英房 ⑧ 中島 則夫

藤田 照代

岡本 はるみ

渡辺 正雄 ⑨ 五十嵐 珠美

比嘉 宏美

石関 一彦

104	118	135	147	150	159	150	
2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995
【平成14】	【平成13】	【平成12】	【平成11】	【平成10】	【平成9】	【平成8】	【平成7】
4	4	1	2	3	1	5	8

新スクールバス運行開始
 (世界) ウィンドウズ95発売
 。大型台風「デール」接近
 (日本) 消費税変更 (五%)
 (世界) 香港が中国に返還
 。大韓航空八〇一便ジャンボ旅客機ニミッツヒルに墜落
 (世界) ダイアナ元皇太子妃が交通事故死
 。グアムプレミアアウトレット開業
 。グアム新国際空港供用開始
 。超大型台風「パカ」直撃
 (日本) 郵便番号七桁化
 補習校創立二十五周年記念式典
 オープンスクール実施
 (世界) 欧州統一通貨「ユーロ」導入
 グラウンド整備完成 (グラウンド開き・記念植樹)
 日本人学校 (全日制) 創立十周年記念式典・祝賀会
 「グアム日本人学校」に校名を変更
 (日本) 改正男女雇用均等法施行
 (世界) マカオが中国に返還
 (日本) 日本人学校ホームページ開設
 (日本) 二千円札発行
 (日本) BSデジタル放送開始
 日本人学校グラウンドにシエルター完成
 日本人学校コンピュータ室にLAN整備
 国語授業を全学年土曜日に集中して実施
 (世界) アメリカ同時多発テロ
 M七の地震発生
 日本人学校 (全日制) 幼稚部開設
 (日本) 公立学校週五日制
 。超大型台風「チャタン」直撃
 。超大型台風「ポンソナ」直撃

戦		金		密		令		災		化		金		安		
50	45			78		80	87	86		81	86					
2023	2022	2021	2020			2019	2018	2017	2016	2015	年					
【令和5】	【令和4】	【令和3】	【令和2】			【令和元】	【平成31年】	【平成30】	【平成29】	【平成28】	【平成27】					
5	11	10	8	7	6	5	2	10	9	4	3	月				
グラム補習授業校創立五十周年記念日 (五月二十日) 中学部修学旅行 (東京・横浜方面) 日本人会秋祭り三年ぶりに開催 補習校創立五十周年記念事業 (校章・マスコット制定) P T A 活動の再開 (日本) 東京オリンピック開幕 (世界) ロシアがウクライナに侵略開始 対面授業再開 日本人学校に校内無線LAN整備 全教室にプロジェクター配備 (日本) 太平洋戦争終戦七十五周年 (世界) イギリスがEUを離脱 (日本) 皇位継承「令和」に改元 (五月) P T A 体制の変更 (P T A 広報誌「かえん樹」休刊) 校外学習実施 (Guam Museum, Historical Inalajan Foundation) (日本) 消費税変更 (一〇%) 日本人学校 (全日制) 創立三十周年記念式典 習熟度別学習・漢字能力検定・日本語検定を導入 。GRAM博物館開館 日本語検定委員会より特別賞を受賞 (日本) 北朝鮮弾道ミサイル日本上空を通過 カラバオ贈呈式 (世界) 気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21) (日本) マイナンバー制度スタート 習熟度別学習・漢字能力検定・日本語検定を導入 。GRAM博物館開館 日本語検定委員会より特別賞を受賞 (日本) 北朝鮮弾道ミサイル日本上空を通過																
校長 (指導者) 小住 智子 ⑮ 井澤 恒晴 ⑯ 佐藤 康隆 ⑰ 武石 大吾 P T A 会長 森本 進 (ブエナビデス 真紀子) 山田 真奈美 グッドマンセン																

税		輸		金		絆		暑		新		変		偽		命		愛		災		虎	
103	136	122	125	109	106	99	108	100	106	97	100												
2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	年											
【平成26】	【平成25】	【平成24】	【平成23】	【平成22】	【平成21】	【平成20】	【平成19】	【平成18】	【平成17】	【平成16】	【平成15】												
12	6				10	11	8	6	10	12	月												
新スクールバス運行開始 (日本) 消費税変更 (八%) 体育館完成・落成式 。通り魔無差別殺傷事件 補習校の「シンボルマーク」制定 (日本) 東日本大震災 日本人学校 (全日制) 創立二十周年記念式典 豚インフルエンザ流行 。恋人岬 土肥との姉妹岬提携二十周年 「補習校創立三十五周年記念誌」発行 補習校創立三十五周年記念式典 ホームデポ開業 (世界) リーマン・ブラザーズ破綻 (リーマンショック) 夏季フォローアップ授業 全日制支援授業 全校音読集会・漢字大会の実施 (日本) 個人情報保護法施行 (日本) 中部国際空港 (セントレア) 開港 (世界) 京都議定書発効 東京学芸大学齋藤助教授による教員向け・保護者向け講演会実施 (日本) 新札発行 (一万円・五千円・千円) アガナシヨッピングセンター起工 (世界) S A R S コロナウイルス感染拡大																							
校長 (指導者) 陣内 洋一 ⑩ 森本 洋子 ⑪ 山上 幸男 ⑫ 石関 一彦 菅谷 裕之 森本 進 青木 一美 野々村 雅之 青木 一美 石関 一彦 P T A 会長																							



• 1979年 習字教室



• 1981年 運動会
(ドックレース場)



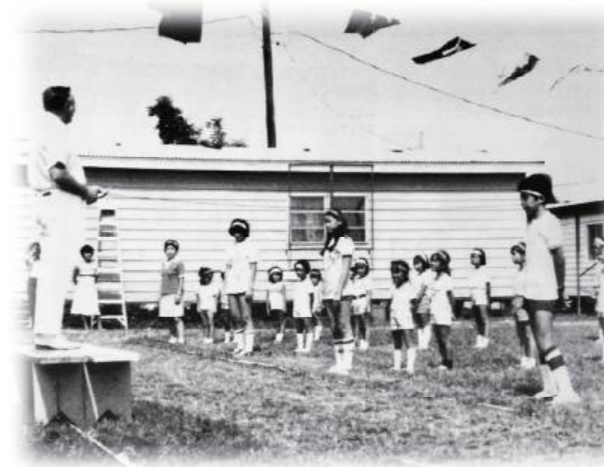
• 1982年 入学式



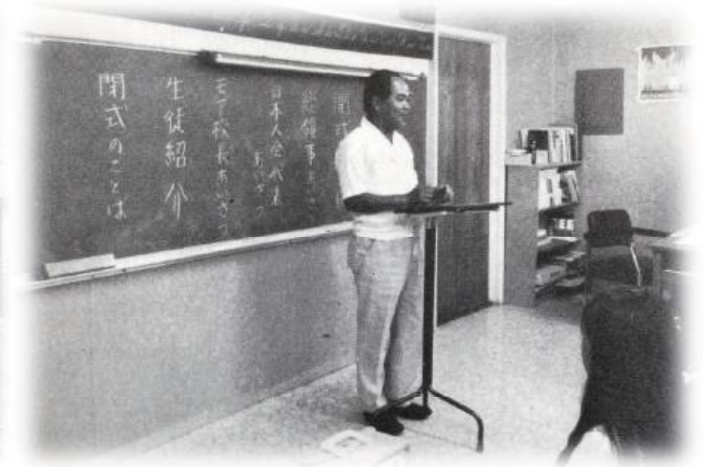
• 1984年 遠足 (ガンビーチ)



• 1985年 卒業式 (フジタモンビーチホテル)



• 1976年 始業式 (セントジョーンズ校)



• 1975年9月 日本語補習校開校式



• 1976年 第1回運動会
(セントジョーンズ校)



• 1976年 自衛艦見学



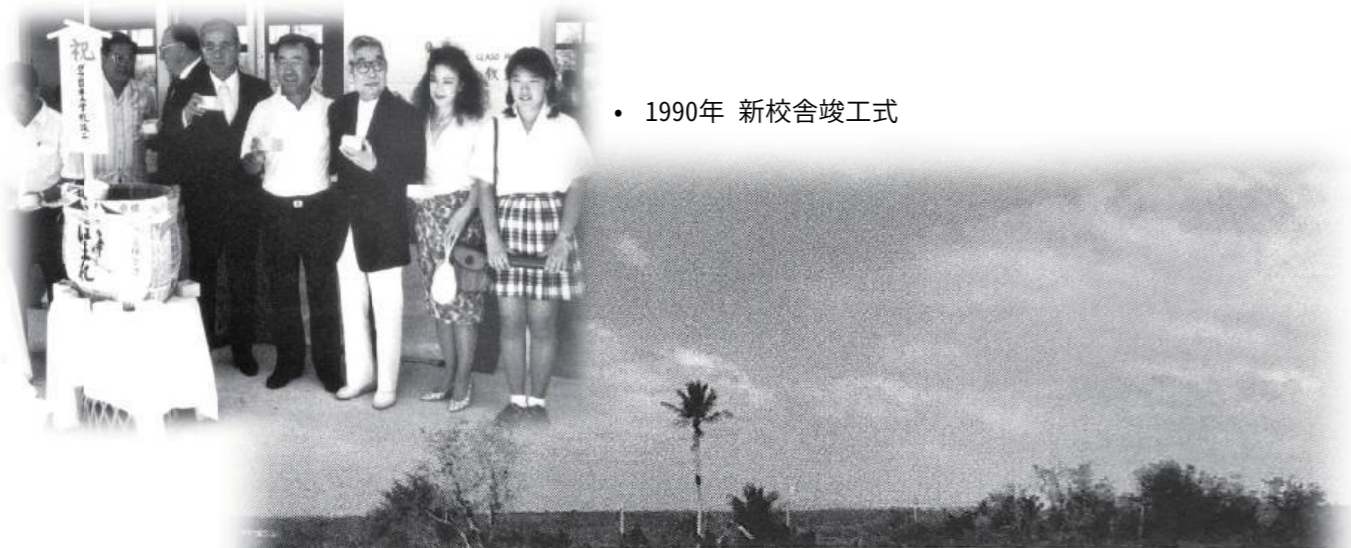
• 1976年 遠足 (タロフォフォール)



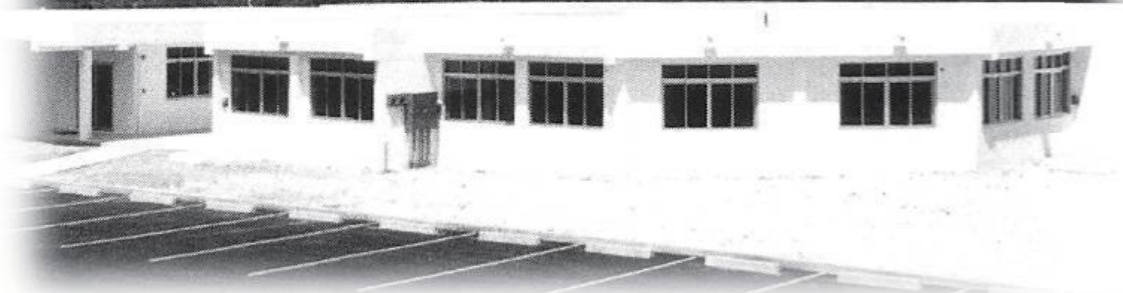
• 1978年 運動会 (フジタホテル)



1990 ~ 1992



• 1990年 新校舎竣工式



• 1991年 餅つき大会

• 1992年 記念植樹 (小学部6年生)



• 1992年 体力測定 (小学部)



• 1992年 フリーマーケット (中学部3年生)

1987 ~ 1990



• 1987年 入学式



• 1987年 中学部卒業式



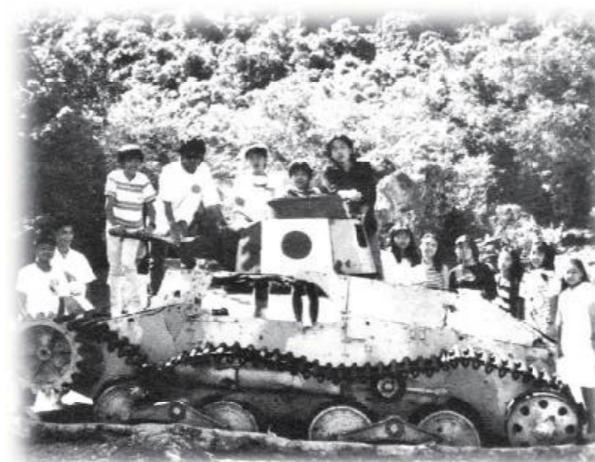
• 1989年 新校舎起工式



• 1989年 ジーゴ平和寺訪問



• 1989年 日本人学校開校式 (相鉄トロピカーナホテル)



• 1989年 中学部修学旅行 (サイパン)



• 1990年 中学部修学旅行 (京都平安神宮)



• 2005年 音読集会 (初) 開催



• 2006年 JAL JETS 来校



• 2009年 お神輿練り歩き (日本人会秋祭り)



• 2009年 ビーチ清掃



• 2009年 スポーツ大会



• 2009年 自衛艦「むろと」見学



• 1993年 習字教室



• 1995年 キャンプ



• 1999年 ラムラム山登山



• 2001年 山本亮治 & 盲導犬ケイル来校



• 2002年 スクールバス (1990年運行開始)





• 2015年 春風亭ぴっかりさん来校



• 2016年 始業式



• 2016年 日本文化の体験 (茶道)



• 2017年 サイエンス教室
(大阪成蹊大学：福岡亮治先生)



• 2018年 夏祭り



• 2018年 ハロウィンイベント



• 2013年 書き初め展

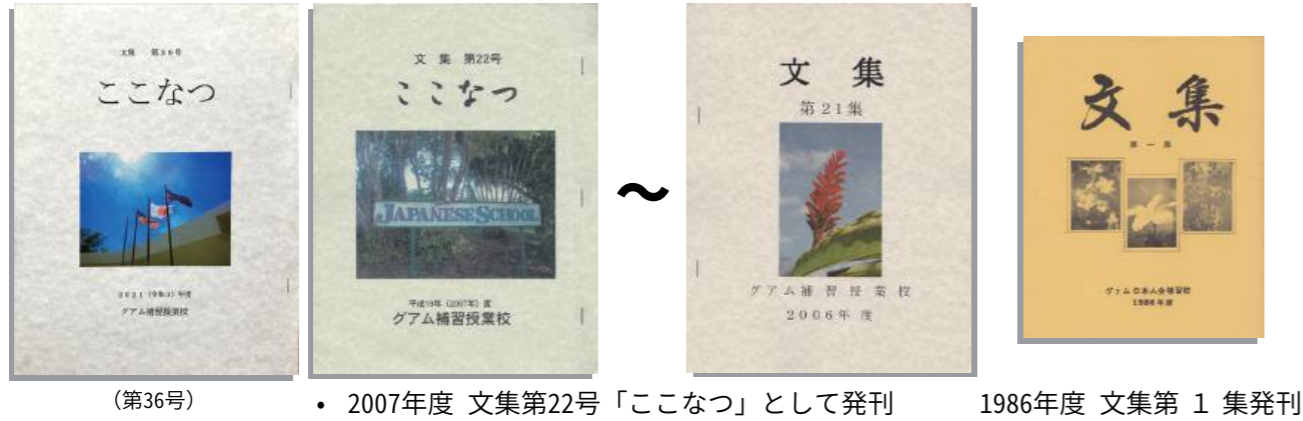


• 2012年 校外学習



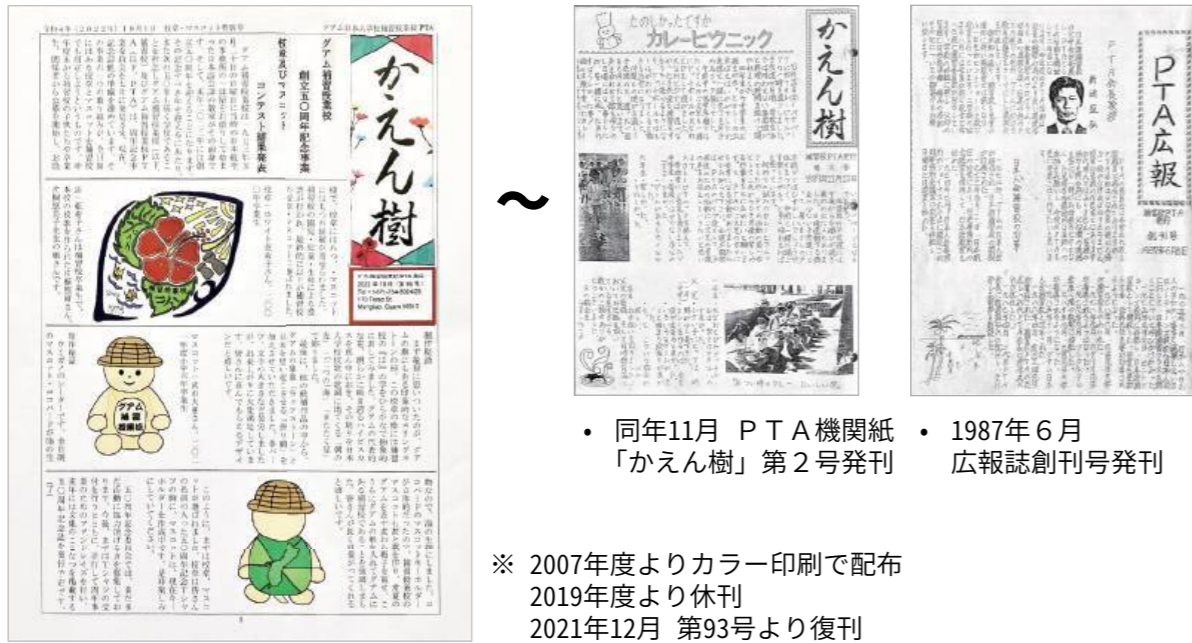
• 2013年 日本文化の体験 (餅つき・けん玉)

● 文集 (年度末に在校生による手記を掲載)



(第36号) 2007年度 文集第22号「ここなつ」として発行 1986年度 文集第1集発行

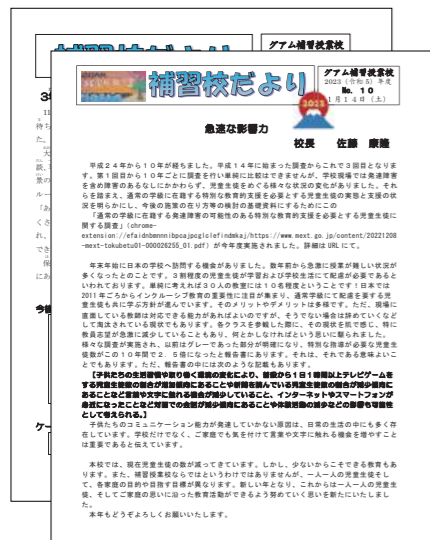
● PTA機関紙「かえん樹」(学期の節目に配布一年3回)



※ 2007年度よりカラー印刷で配布
2019年度より休刊
2021年12月 第93号より復刊

(第95号)

● 「補習校だより」



● 記念誌 (周年誌)



2008年度 35周年記念誌
サブタイトル「繋」

1993年度 20周年記念誌
「20年の歩み」

2019 ~ 2022



2019年 ポスターコンテスト (日本人会秋祭り)

2019年 日本文化の体験 (合気道)



2021年 オンライン授業



2021年 クリスマスイベント



2022年 うちわコンテスト (日本人会秋祭り)



2022年 航空教室



2008年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業
 青木 悠 安りえ 白井 荘樹 パーク 賢



2008年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業
 アルバ ジョシュア 石関 静良 小山 光智 川野 早也香 渡部 雅子



2008年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2008年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



写真は文集「ここなつ」より

2009年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

勝俣 リッキー 北館 奎吾 クルーズ チノ 坂根 遼 ブエナビデス ジオン 前田 修輔



写真は文集「ここなつ」より

2009年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

大友 ひかり 北館 侑也 渋谷 真岸 下田 藍丸 中本 理沙 前田沙也加 安川 志伊奈



1組

2組

写真は文集「ここなつ」より

2009年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



写真は文集「ここなつ」より

2009年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2010年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

梅田 律生 小関 恵 川野 結う花 コラード 彩陽花 ティズデル 友哉 パーク 真
ボウルズ アリサ 松下 登威 吉田 梨南 辻 美音 ショール 亜美 クルーズ 麗菜



2010年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

梅田 史夏 コラード 南美花 藤崎 隼颯



2010年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2010年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2011年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

アリカコス カイ ウルパノ 梨花 江崎 光明 川内 也恵 川端 真才人 佐竹 可里奈 佐野 琢磨 澤田 佳奈絵
セバダ 達也 ダビットソン アリサ 中尾 優理 早船 聖貴 マカーシー 健司 リム サラ レイファンド ローレン ロールダン 愛莉紗



2011年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2011年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

青木 悠 安 りえ 白井 荘樹 パーク 賢 リム ショーン 高須 ケイン ファーミン 絵里菜



2011年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



写真は文集「ここなつ」より

2012年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

ガイオス シーナ 舞 金森 秀人 金光 純也 北館 遥 佐野 彩香 鈴木 涼 谷 春香 ティズデル 譲
テノリオ 紫依羅 ブラガ サラ ポイントン プレスティン 森本 聖那 山本 野映瑠 和田 有加 吉田 幸之助



2012年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2012年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

北館 奎吾 坂根 遼 ブエナビスジョン 立花 佐和子



2012年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2013年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業
 熱田 海斗 金淵 美奈子 齋藤 愛里須 中尾 愛美 ブエナビデス 真矢
 三村 桃 ホワイト 鈴奈 森本 玲音



2013年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業
 アルバ 八恵子 コラード 沼野 彩陽花 種谷 マリア パーク 真 森 正平 吉田 梨南



2013年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2013年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2014年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

飯塚 一心 井上 美音 菊地 颯太 坂根 莉衣奈 セペダ ケンジ パーン ちあき アリッサ
ハレハレ カイル 松下 範奈 メイヤー 翔 スール ミッシェル



2014年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2014年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

ウルバノ 梨花 川内 也恵 川端 真才人 佐竹 可里奈 佐野 琢磨
セペダ 達也 リム サラ マカーシー 健司



2014年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2015年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

秋 穂香 井上 美知 尾ノ下 菜々 鈴木 海 西村 海都 ホワイト 聖理奈 マカーシー 香里奈



2015年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

金光 純也 佐野 彩香 鈴木 涼 谷 春香 テノリオ 紫依羅 ポイントン プレスティン
森 札美 吉田 幸之助 和田 有加 森本 聖那



2015年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2015年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2016年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

岡田 冴々己 尾形 学 加藤 心 テノリオ 麗花 山田 美和 グッドマンセン 吉田 愛加



2016年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2016年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

熱田 海斗 金淵 美奈子 キネニ 川端 真衣 齋藤 愛里須
ブエナビデス 真矢 三村 桃 長坂 カイ アンドレ



2016年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2017年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

飯田 希音澄 石井 一茶 石井 恒輔 伊與田 凛 クラーク 有愛
バーガーヨ 鈴木 真凜 バーガーヨ 鈴木 龍 藤崎 詞保梨



2017年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2017年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

井上 美音 菊地 颯太 坂根 莉衣奈 スール ミッシェル (稲吉 京子) セベダ 健二
バーン ちあき アリッサ 松下 範奈 メイヤー 翔 岩間 キーシャ



2017年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2018年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

石井 アイリス 尾形 聡 尾ノ下 友亮 加藤 眠 藤原 奨太郎
ベイリー マックス 馬淵 朱那 メイヤー 陸 横田 ニコラス



2018年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

井上 美知 クラーク 啓士 鈴木 海 長坂 エリーケイト 西村 海都 マカーシー 香里奈



2018年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2018年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2019年度の卒業式は、コロナパンデミックにより行うことはできませんでした。写真は、文集「ここなつ」第35号のために掲載されたものです。

2019年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

伊藤 友架 金森 愛 金勝 藍佳 芝端 志和
パーク 礼恩 ハレハレ ショーン リムティアコ 百合



2019年度の卒業式は、コロナパンデミックにより行うことはできませんでした。写真は、文集「ここなつ」第35号のために掲載されたものです。

2019年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

岡田 冴々己 小川 光輝 加藤 心 金勝 泰洋
テノリオ 麗花 山田 美和 グッドマンセン 吉田 愛加



2019年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2019年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2020年度の卒業式は、コロナパンデミックにより行うことはできませんでした。写真は、文集「ここなつ」第35号のために掲載されたものです。

2020年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

清水 塔太 鈴木 英 リンドリス



2020年度の卒業式は、コロナパンデミックにより行うことはできませんでした。写真は、文集「ここなつ」第35号のために掲載されたものです。

2020年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

飯田 希音澄 石井 恒輔 伊與田 凜 クラーク 有愛 藤崎 詞保梨 和田 実久



2020年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2020年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



2021年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部卒業

伊藤 太洋 伊與田 黎 加藤 鼓 北村 空大 武石 大亜 バトラー タリーク 安田 光希



2021年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部卒業

尾形 聡 加藤 眠 馬淵 朱那 メイヤー 陸 横田 ニコラス



2021年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2021年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学

2007 (広島・関西方面)



2010 (広島・関西方面)



2013 (関西方面)



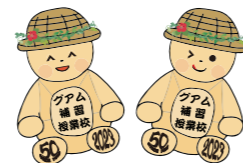
2016 (関西方面)



2019 (広島・関西方面)



2022 (東京・横浜方面)



2022年度 グアム日本人学校補習授業校 小学部入学



2022年度 グアム日本人学校補習授業校 中学部入学



● 教科書は無償配布



● 中庭



● 屋下



● 図書室

● 鎮座するカラバオ



● 事務局 (ダカナイ事務長とひとみさん)



● 会議室



● トイレ

● 音楽室・図工室・理科室



● 職員室



● グラウンド



● 体育館



● 倉庫



● シェルター



● 正面玄関・セキュリティ



(カシアノさん)



在外教育施設
グアム日本人学校
グアム補習授業校

● 校舎全景・駐車場



● テニスコート・ラッテストーン



● 遊具



グアム補習授業校 校則

(二〇二〇年一〇月八日改正)

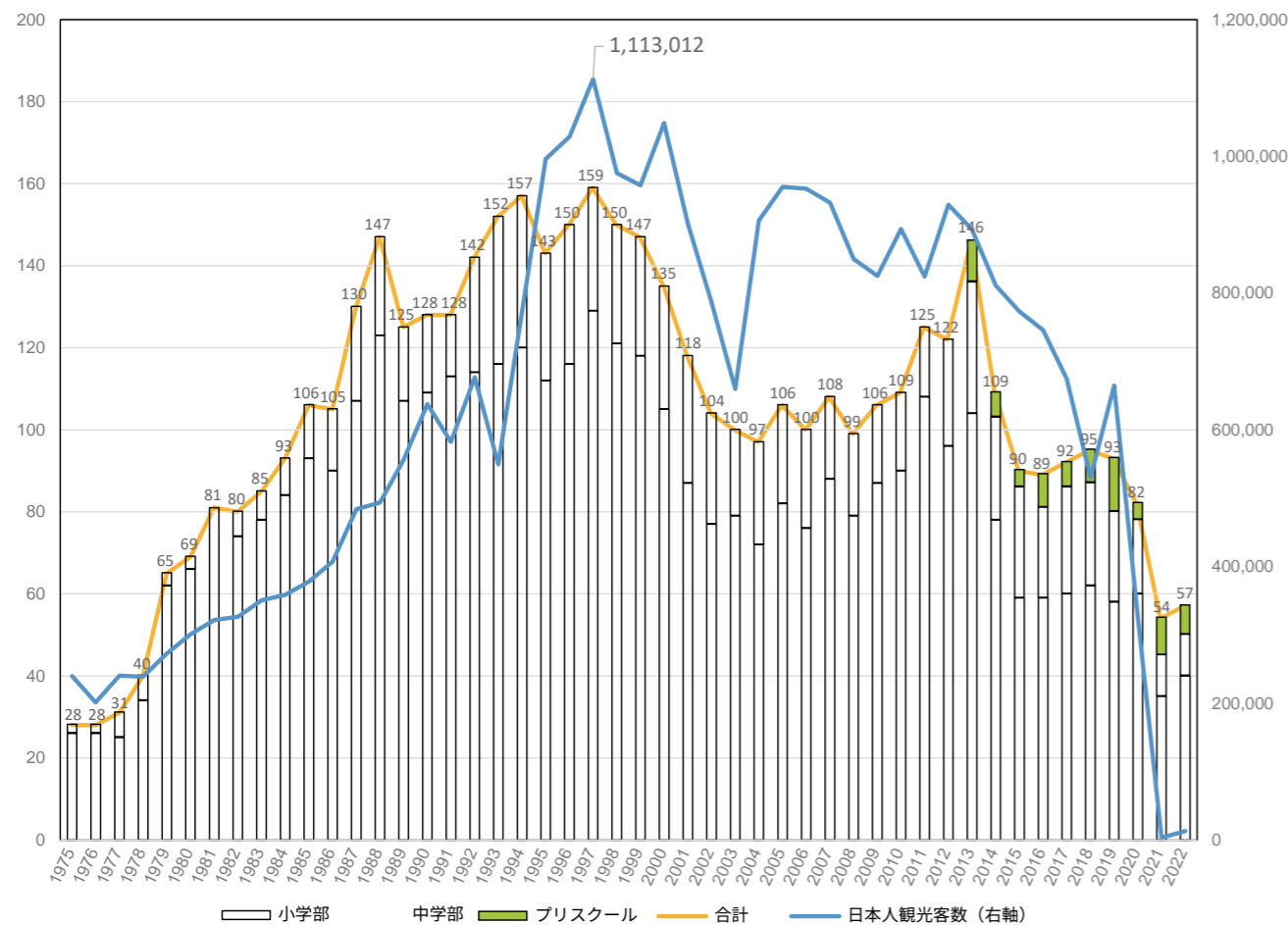
- 第一章 総則
第一条 この規則は、グアム補習授業校（以下、補習校という）について必要な事項を定めたものである。
第二条 補習校は、グアム日本人会より委嘱されたグアム学校理事会（以下、理事会という）により運営される。
第三条 補習校は、日本国文部科学省の義務教育に準拠した国語教育を施すことを主たる目的とする。
第四条 補習校の修業年限は、小学部六年、中学部三年とし、児童生徒の定員は別に定める。
第五条 校長の任免は、理事会が候補者を推薦し、日本人会理事会の承認を得る。教職員の任命は理事会が決定する。
第六条 教職員の職務、待遇については別に定める服務規程による。
第二章 入学資格
第七条 原則として在グアム日本人子女を対象とし、補習校の授業を受けるに当たり支障のない程度に日本語を解するものとする。
第八条 小学部一年の入学年齢は、日本の義務教育に準じ四月二日現在満六歳以上の子女とする。
第三章 入学、編入学、休学、退学
第九条 入学および編入学を希望するものは、以下を承諾し、校長が面接の上認定する。
(一) 入学、編入学を希望するものは、グアムでの長期滞在許可の保有が条件であり、その条件を満たす書類（ビザ、パスポート、その他）のコピー提出を義務付ける。
(二) グアムの法令に基づき、入学時・編入学時・進級時、及び接種の都度、予防接種記録カードのコピー提出を義務付ける。接種完了期間は編入学後三ヶ月以内とする。
(三) 児童生徒が、休学、退学する場合、保護者は事前に校長まで届け出る。
(四) 授業を欠席、遅刻、早退する時は、保護者が担任まで届け出る。
(五) 第一児童生徒の住所に変更があった場合、保護者は速やかに校長に届け出る。
(六) 校則および教育課程に賛同する。
(七) PTA活動に協力する。
(八) 学校運営においては、保護者と学校との信頼関係の構築及び維持が不可欠の為、校長が当該信頼関係の構築、維持する見込みがないと判断した場合は、理事会と相談の上、当該保護者の児童生徒の入学は許可されない。

- 第十五条 前条の定めにより必要があるときは、理事会の承認を得て、休日に授業を行ったり、臨時に休業する事ができる。但し、緊急のときは校長が決定し、事後に理事会の承認を得る。
第十六条 校長は入学・在学・終了等の証明を行う。
第十七章 諸経費
第十七条一 入学を希望する児童生徒の保護者は、理事会の定める所により、入学金及び授業料その他の費用を納入しなければならない。
二 児童生徒の入学後、前項に定める入学金及び授業料その他の費用の納付が保護者より行われず、または一部または全部の滞納がある場合は、当該児童生徒の退学処分を理事会と協議の上、校長が判断することがある。
第十八章 安全に対する責任
第十八条 児童生徒の服装は授業を受けるのにふさわしいものを着用する。また学習に必要でないものは本校に持参しない。
第十九条 通学の送迎は、保護者の責任において行う。
補習校の定める登下校の時間外の校内事故については保護者の責任とする。学校管理下の事故等に備えて、学校傷害保険に全員加入するものとし、費用は保護者負担とする。
第九章 表彰
第二〇条 校長は、皆勤・努力・善行が認められる児童生徒を表彰できる。
第十章 その他
第二一条 この校則は、理事会の議決をもって改正できる。
第二二条 この校則に定められていない事項については、必要に応じて理事会で審議し、決定する。
第二三条 この校則は一九八九年四月一日から施行する。
一九九〇年 八月二日 改正
一九九二年 十一月〇日 改正
二〇〇〇年 十二月十三日 改正
二〇〇二年 十二月二〇日 改正
二〇〇五年 一月十一日 改正
二〇〇九年 二月十三日 改正
二〇一〇年 三月四日 改正
二〇二〇年 一〇月八日 改正

- 第一〇条 学校は、暴力行為やいじめ及び授業妨害を含む学校運営を阻害する行為に対し、速やかに事実関係の調査を行い、学校の秩序を維持し他の園児・児童・生徒の教育を受ける権利を保障するために対処する。
一 校長は、本校に在籍する園児・児童・生徒に対して、教師の指導があったにもかかわらず暴力行為やいじめ及び授業妨害に類する行為を繰り返した園児・児童・生徒に対して、その内容や程度に応じて別途定める懲戒処分を行うことができる。
二 第十四条九記載の学校と保護者との信頼関係が構築・維持が困難であり、なおかつ、学校運営に重大な支障があると校長が判断した場合、理事会と相談の上、その保護者の園児・児童・生徒は退学処分とされることがある。また、保護者がその言動において、教諭等に対し穏当では無い態度を示した場合の対処方法についても別途定める。
三 学校、園児・児童・生徒、およびその保護者は、学校運営や教育活動に著しく支障を来す問題を認められた場合には、理事会に報告し適切な対処を求めることができる。
第四章 学級編成
第十一条 (一) 学級編成は、年齢、学力に応じて校長が決定する。
(二) 学級編成に伴う学級数等については、校長が立案し理事会の承認を得る。
第五章 授業時間、学年、学期及び休業日
第十二条 (一) 国語は週四時間とし、希望者には算数・数学・社会（歴史的分野）をそれぞれ週二時間行う。
(二) 授業時間は平日十六時一〇分から十七時五〇分、土曜日は八時四十五分～十二時十五分、十三時四十五分～十七時十五分とする。
第十三条 (一) 学年は四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。
(二) 学年を次の学期に分ける。
第一期 四月一日～七月三十一日
第二期 八月一日～十二月三十一日
第三期 一月一日～三月三十一日
第十四条 休業日は次の通りとする。
(一) 日曜日、月曜日 (二) 一学期末休業 (三) 二学期末休業 (四) 学年末、学年始め休業 (五) アメリカ合衆国の定める祝祭日 (六) 台風、トピカルストームを問わずコンディションとなった時、原則としてグアム政府の通達に従うが危険を伴うと思われる時は学校独自の判断で休学通達をPTA連絡網でなす。

- 第四条関連 学級の定員
一 小学部（一、三年、五年）一学級二四名
二 小学部（四年）一学級二五名
三 小学部（六年）一学級二〇名
五 中学部 一学級十二名
但し、特別の事情がある場合変更されることがある。
第七条関連 入学資格
入学希望者のクラス分けの基準は左記の通りとし、審査の結果日本語会話クラスもしくは学年を落として入学もありうる。
小学一年生 平仮名五十音の読み書き、自分の名前が書ける。
小学二年生 平仮名五十音の読み書き、一年（下）の教科書音読。
一年生の漢字八〇字の読み書き。
小学三年生 二年生までに習った漢字の読み書き、二年（下）の教科書音読。
小学四年生 三年生までに習った漢字の読み書き、三年（下）の教科書音読。
小学五年生 四年生までに習った漢字の読み書き、四年（下）の教科書音読。
小学六年生 五年生までに習った漢字の読み書き、五年（下）の教科書音読。
中学一年生 小学六年生までに習った漢字の読み書き、小学校六年（下）の教科書音読。
教科書音読。
中学二年生 中学一年生までに習った漢字の読み書き、中学校一年の教科書音読。
音読。
中学三年生 中学二年生までに習った漢字の読み書き、中学校二年の教科書音読。
音読。
第八条関連 入学資格
五歳児に付いては小学校入学前の段階としてプリスクールを設定する。
第九条関連 休学・退学
日本人学校への体験入学の場合、休学届を提出することにより補習校の授業料は免除される。但し、日本人学校への体験入学以外の理由による休学の場合は、授業料は免除されない。
特別の事情により暦月で三月以上学校に来られない場合は、退学届けを提出することが出来る。ただしそれ以内であれば休学扱いとし、授業料は納入する。
第一〇条関連 一 項の懲戒処分の具体的対処
一、一回目 文書による訓告処分
二、二回目 一週間から二週間の停学処分
三、三回目 二週間から三週間の停学処分
四、四回目 学校理事会において処分を決定する

児童生徒数の推移



年度	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986
小学部	26	26	25	34	62	66	81	74	78	84	93	90
中学部	2	2	6	6	3	3	0	6	7	9	13	15
合計	28	28	31	40	65	69	81	80	85	93	106	105
日本人観光客数	239,695	201,344	240,467	238,848	272,741	300,767	321,766	326,389	350,540	358,665	378,146	407,070

年度	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
小学部	107	123	107	109	113	114	116	120	112	116	129	121
中学部	23	24	18	19	15	28	36	37	31	34	30	29
合計	130	147	125	128	128	142	152	157	143	150	159	150
日本人観光客数	483,954	493,543	555,748	637,569	582,270	676,659	549,343	773,349	996,219	1,028,673	1,113,012	975,402

年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
小学部	118	105	87	77	79	72	82	76	88	79	87	90
中学部	29	30	31	27	21	25	24	24	20	20	19	19
合計	147	135	118	104	100	97	106	100	108	99	106	109
日本人観光客数	957,740	1,048,813	901,539	786,947	659,593	906,106	955,245	952,687	932,175	849,831	825,129	893,716

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
プリスクール	10	6	4	8	6	8	13	4	9	7		
小学部	108	96	104	78	59	59	60	62	58	60	35	40
中学部	17	26	32	25	27	22	26	25	22	18	10	10
合計	125	122	146	109	90	89	92	95	93	82	54	57
日本人観光客数	824,005	929,229	893,118	810,856	773,019	745,691	674,345	530,223	664,784	324,574	3,454	13,022

※一から四は必ずしも段階を経ないで実施される場合がある。
 ※これらの処分を行う場合には、当該園児・児童・生徒への配慮を十分に
 行う。
 第一〇条関連 二項の当該保護者への具体的対応
 教職員が当該保護者に対し信頼関係を構築しようと努力しているにもか
 わらず、その言動において教諭等に対し穏当では無い態度を示し続け
 た場合には、校長は次のように対応する。
 一、速やかに事実関係の調査を行い、当該保護者の言動が不適切と判断
 した場合には、当該保護者への改善申入（不適切な言動が持続けば、
 当該保護者の園児・児童・生徒は退学処分となる旨を通知）を行う。
 二、改善申入にもかかわらず当該保護者に改善が見られない場合には、
 校長は理事会と相談の上、その保護者の園児・児童・生徒を退学処分
 とすることができる。
 第十一條関連 学級編成
 学齢を問わず日本語会話を解さない六歳から十五歳の児童生徒については、
 日本語会話クラスへの編入となる。
 第十三條関連 授業日
 一学期 十一週 ～ 十三週 (十一週)
 二学期 十八週 ～ 二〇週 (二〇週)
 三学期 十一週 ～ 十二週 (十二週) 年間四一週 ～ 四五週
 第十四條関連 休業日 (六) 台風、トロピカルストーム等の場合
 グアム政府の通達で、次の時刻にコンディション2の時に休校とし、PTA
 連絡網で家庭に連絡する。
 土曜日：午前七：〇〇～平日：午後二：〇〇
 第十七條関連 入学金・登録料・授業料等の諸経費
 別紙参照

● 年間行事 (予定)

- 4月 入学式・始業式
避難訓練・学習参観・懇談
- 5月 学力テスト
- 6月 日本語検定①
1学期終業式
漢字能力検定①
(夏休み)
- 7月 (夏休み)
- 8月 2学期始業式
習熟度別学習参観
- 9月 (体験学習実施予定)
- 10月 音読発表会
漢字能力検定②
- 11月 日本語検定②
(日本人会秋祭り参加)
- 12月 学期終業式
(冬休み)
- 1月 学期始業式
スポーツ大会
- 2月 漢字能力検定③
- 3月 卒業式・修了式
(春休み)

● 平日の授業

曜日	算数・数学	その他の教科
火曜日	小1・小5	書道・日本語会話
水曜日	小2・小6 中1	JLP T (日本語能力検定受験)
木曜日	小3・中2	
金曜日	小4・中3	日本語会話

校時表 (各曜日共通)
 ① 16:10 ~ 16:55
 ② 17:05 ~ 17:50

● 土曜の授業

	午前	プリスクール	小5 ~ 中3
①	8:45 ~ 9:30	国語	国語
②	9:40 ~ 10:25	国語	国語
③	10:35 ~ 11:20	国語	日本語習熟
④	11:30 ~ 12:15	国語	漢字習熟
	午後	小1 ~ 小2	小3 ~ 小4
⑤	13:45 ~ 14:30	国語	日本語習熟
⑥	14:40 ~ 15:25	国語	漢字習熟
⑦	15:35 ~ 16:20	国語	国語
⑧	16:30 ~ 17:15	国語	国語

グアム補習授業校PTA規約

- (名称) 第一条 本会はグアム補習授業校PTAと称する。
- (目的) 第二条 本会は、家庭と学校が協力して園児・児童・生徒の福祉を増進し、会員相互の研修を深め並びに親睦を図ることを目的とする。
- (方針) 第三条 本会は、前条の目的を達成するため、信義と敬愛の精神をもって次の事項を行う。
 - (一) 家庭と学校の連携を密にし、学校教育の理解に努め、園児・児童・生徒の心身の健全な発達を図る。
 - (二) 教育環境の整備と充実に協力する。
 - (三) 教育の公正かつ完全な実施に努力する。
 - (四) 児童・生徒の福祉のために活動する他の団体と協力する。
- (会員) 第四条 本会の会員は、グアム補習授業校プリスクール園児・小学部児童・中学部生徒の保護者並びに補習授業校の教職員とする。
- 第五条 本会の会員は、本会において平等の権利と義務を有する。
- 第六条 本会の会員は、会費を納め、会の維持に努める。
- 第七条 本会並びに本会の役員は、補習授業校PTAの名に於いて政治的、宗教的または営利的な行為をしてはならない。
- (会計) 第八条 本会の経費は、会費及び事業収益金と寄付金をあてる。会費の額の決定及び寄付金の募集に関しては、総会の議決による。
 - 第九条 会費は、園児・児童・生徒並びに教職員一人につき年額一〇ドルとし、年度の初め、あるいは転入時にこれを納める。年度中に退学や転出があった場合、返金はされない。
 - 第十〇条 本会の会費は、第二条の目的以外に使用できない。
 - 第十一条 本会の会計年度は、四月一日に始まり、会計監査受領日をもって終了する。
 - (役員とその選出) 第十二条 本会に、保護者の会員の中より以下四役の役員をおく。
 - (一) 会長 一名
 - (二) 副会長 一名
 - (三) 書記 一名
 - (四) 会計 一名
 - 第十三条 役員は任期は一年とする。再選は妨げない。但し、PTAの存続には四役の兼任を認めためたうえで保護者二名以上の役員を必要とする。

なお、役員が年度内に退学・転出する場合は新たに役員を選出を行う。役員を選出と就任は次の通りとする。

- (総会) 第十八条 総会は最高の議決機関であって、年度初めの予算総会並びに年度末の決算総会を行うものとし両会は同一日に開催することもできる。

臨時総会は「PTA役員会の要請」または「会員の三分の二以上の要請があったとき」会長が召集することができる。会長は、総会の開催日時・場所をその五日前までに議案とともに会員に通知する。総会は次のことを行う。

- 第十九条
 - (一) 規約の決定と改正
 - (二) 役員承認
 - (三) 本会の事業の審議
 - (四) 予算の決議、決算の承認
 - (五) 本会の目的達成のための必要な事項
- 第二〇条 総会は会員世帯数の三分の二以上の出席(委任状を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数の同意をもって成立する。(PTA役員会)
 - 第二一条 PTA役員会の構成と開催については、次のとおりとする。
 - (一) 総会において選出された役員とクラス役員で構成し、原則として、五月、九月、十一月、一月、三月に開催する。ただし、理事会の日程変更等の理由により、会長は開催日を変更することができる。必要のある場合は随時、臨時PTA役員会を召集できる。役員及びクラス役員以外の会員でも、出席して意見を述べることが議決権はない。また、出席するときは、必ず四役、またはクラス役員に連絡する。
 - 第二二条 PTA役員会は、役員及びクラス役員は二分の一以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数の同意をもって成立する。
 - 第二三条 PTA役員会は次の事項を行う。
 - (一) 理事会に提出する議案の作成
 - (二) 理事会より委任された事項の審議及び実施
 - (三) 総会に提出する議案の作成
 - (四) 総会の議決により委任された事項の実施
 - (五) 本会の事業計画の立案
 - (六) 規約改正案
 - (七) 学校行事の参加協力
 - (八) 学校と会員の連絡
 - (九) 緊急事項の審査、決定
 - (会計監査) 第二四条 本会は会計監査のために一名の監査委員をおく。監査委員はPTA役員会に出席する義務はない。
 - 第二五条 監査委員は指名委員会の推薦または今年度と次年度のクラス役員の中から選出により、会長がこれを任命し、総会において承認を得る。

- (一) 役員候補を定めるため指名委員会を設ける。
- (二) 指名委員会は役員並びにクラス役員全員をもって構成する。
- (三) 指名委員会は役員各役職に対する候補者を選出し、少なくとも総会五日前には全員に対して通知する。
- (四) 指名委員会において選出した役員候補者については前もって本人の同意を得、総会がこれを承認する。
- (五) 役員は四月より就任し任期は一年とする。
- (六) 役員は他の役職との兼任を認められる。
- (七) 本会の役員と日本人会理事と兼任は認められない。(ただし、PTA役員会にて承認された場合は、教育部と会計以外であれば兼任も可能)
- (八) 指名委員会において役員が選出できない場合は、今年度と次年度の学級委員の中より選出する。その場合、後期総会までに公正くして役員候補者を選出し、後期総会にてこれを承認する。役員は選考にあたって、個人及び個人の属する団体のため本会を利用することなく、園児・児童・生徒の教育に理解と熱意を有する会員を選ぶ。
- 第十四条 役員は四月より就任し任期は一年とする。
- 第十五条 役員は次のとおりとする。
 - (一) 会長は本会を代表し、総会、PTA役員会を召集する。
 - (二) 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はこれを代行する。
 - (三) 書記は総会及びPTA役員会の議事を記録し、また各種会合及び運営委員会報告を通知する。
 - (四) 会計は本会すべての会費の収入及び支出を明確にし、総会においてこれを報告する。
 - (五) 会長・副会長・書記・会計のうち一名は、本会を代表して、日本人学校理事会に出席する。
- (クラス役員) 第十六条 本会は役員候補者として、学年ごとにクラス役員を置く。
 - (一) クラス役員は、学級の保護者から互選により選出することとし、必要人員は児童数の増減等、状況に応じ、適宜、変更できるものとする。
 - (二) クラス役員は、必要に応じて学級集会を開催できる。
 - (三) クラス役員が年度内に退学・転出する場合は、新たにクラス役員を選出を行う。
- (機関) 第十七条 本会は次のとおり機関を設ける。
 - (一) 総会
 - (二) PTA役員会(クラス役員も含む)
 - (三) 学級集会

- (特別委員会) 第二六条 特別委員会は、役員が必要に応じて設けることができる。(帳簿) 第二七条 本会は次の帳簿をおく。
 - (一) 会員名簿
 - (二) 役員、クラス役員名簿
 - (三) 規約記録綴り
 - (四) 議事録綴り
 - (五) 会計簿
- (規約改正) 第二八条 この規約の改正は、PTA役員会で審議し、総会の過半数以上の同意を経て改正することが出来る。
- (補足) 第二九条 この規約は一九八六年四月十八日から施行する。

一九八六年 三月二二日	第十九条改正
一九八九年 三月九日	第二、四、九、十二、十五、十六、十七、十八条改正
一九九〇年 三月一〇日	第十二、十三、十五、二二、二三、二四条改正
一九九一年 三月九日	第一、四、十五、二四条改正
一九九五年 三月一日	第二五条改正
一九九六年 三月九日	第二五条改正
一九九七年 三月八日	第二五条改正
二〇〇二年 三月七日	第二二条改正
二〇〇三年 三月一日	第二二、十六、十七、二八条改正、第二九条を設ける。
二〇一二年 八月二八日	第二、三、四、七、八、九、十一、二九条改正、および二〇一一年度会費特別規定」追記
- 付則 一、「二〇一一年度会費特別規定」(二〇一一年八月二八日)

グアム補習授業校PTA再発足に伴い、PTA規約第九條にあるようにPTA会員は、園児、児童・生徒一人につき年額一〇ドルを納めることが定められている。しかしながら、当該年度は、年度途中(八月)からのPTA活動となるため、会費を五ドルとする。なお、使用用途等についてはすでに定めてある規約の通りとする。

教職員・児童生徒氏名 (2023年1月末)

学校長 佐藤 康隆 事務長 ダカナイ 敬子 事務 フェリア ひとみ エリス 聖子 鷺海 リサ 清掃 コンセプション マリリン ウルバノ 久美子	教員 片桐 恵美子 渡部 麻利子 ヘプファー 文美 田上 麻理 ヒルデブランツ 由里子 江間 智子 リムティアコ 京子 小松 佐矢子	力武 哲哉 (~22年6月) 大久保 恵子 (~22年8月) デラクルーズ 有里 (~22年6月) ダニエル ヘーガン イメルダ ラロコ
プリスクール アイコーマン 咲舞 フェルプス ゼイ ゴグイ 晴輝	阿部 一星 ホルスマン カスパー 誠司 松田 茉莉花 ジャスミン	オルネラス ジャクソン
小学部1年生 伊藤 優磨 リックス 瑛麻	許 廉太郎 カスティロ 照那	ライト 紗弥
小学部2年生 稲垣 藍子 フォルガー 杏百合 ホルスマン アクセル 健司 ゴグイ 嵐	翁 怜音 ヘプファー 由樹子 オリビア 渡部 れおら 岡崎 雅 エリアナ	バーディック 賢士 ボッチア オリビア 章
小学部3年生 岩崎 渉 ベニテス アベ 藤林 賢生	佐藤 のあ ボーハ 夏姫 ボッチア アンソニー 晴	時任 祥 ライト 詩乃 オレアリー 若仙
小学部4年生 石井 敢輔 武石 大喜千 カスティロ 沙羅	加藤 涙 ハレハレ 伶亜	バーディック 海都 伊與田 黎
小学部5年生 バダー かいしん ドミンゴ 海 (かい) 佐藤 花音	横田 マリナ ドミンゴ 空 (すかい) 岡崎 カルメン 日向	渡部 理生 (りお) 時任 さくら メンディラオ 優馬
小学部6年生 天満 かえ	フォルガー 南	渡邊 優樹奈
中学部1年生 伊藤 太洋 武石 大亜	加藤 鼓	柴田 優人
中学部2年生 清水 塔太	関口 桜	
中学部3年生 小川 めぐ 伊藤 友架 金森 愛	芝端 志和 許 悠里子 チャーリー スロンソン	パーク 礼恩 権田 正太郎
日本語会話 Alford Alexander Castilo Syona Lenantz Eliane Boccia Fumi Tami Deal Cathalin Shelton Anthony Ornellas Jaxon	Alford Elizabeth Castilo Sara Chiharu Cruz Margaret Pagarido Manami Childs Marquice Araw Hiroko	Abe Taiyo Childs Jamere Boccia Haru Hana Deal Patorsia Shelton Austin Araw Tomohiko

※ 中途転出者を含みます。

教員名簿 (年度別)

2009年 片桐 恵美子 森本 洋子 クラウス 純子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 沼田 大林 紀美子 山本 真由	2008年 片桐 恵美子 森本 洋子 クラウス 純子 コールファクス とよ子 松本 光子 大久保 恵子 大林 紀美子 中尾 真由美 鈴木 隆 ガルシア 恵子 スミス八 恵子 ボールズ 靖子	2007年 片桐 恵美子 森本 洋子 クラウス 純子 松本 光子 大久保 恵子 大林 紀美子 中尾 真由美 鈴木 隆 ガルシア 恵子 スミス八 恵子 Quejado Hiroko	2006年 ボダリオ 久子 片桐 恵美子 レオンガレロ 真紀子 クラウス 純子 西澤 桂 松本 光子 大久保 恵子 大林 紀美子 若菜 つくに タイタノ 誠 ボールズ 靖子 スミス 八恵子
2013年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 クラウス 純子 大林 紀美子 山本 真由	2012年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 クラウス 純子 大林 紀美子 山本 真由	2011年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 大久保 恵子 クラウス 純子 大林 紀美子 山本 真由 永橋 英郎	2010年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 大久保 恵子 クラウス 純子 大林 紀美子 山本 真由 三村 麻衣
2017年 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 フィドラー久 仁子 プール 由紀子 永橋 春美 渡部 麻利子 中村 むつみ 田上 麻理 デラクルーズ 有里	2016年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 玉川 美粧 西元 咲文 フィドラー久 仁子 プール 由紀子 永橋 春美 中村 むつみ 田上 麻理 デラクルーズ 有里	2015年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 クラウス 純子 上野 (ナイ) 由香里	2014年 森本 洋子 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 クラウス 純子 上野 (ナイ) 由香里 大林 紀美子 山本 真由
2021年 片桐 恵美子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 渡部 麻利子 田上 麻理 デラクルーズ 有里 ヘプファー 文美 Danielle Hagen 和田 京子 ヒルデブランツ 由里子 久下 直子	2020年 片桐 恵美子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 渡部 麻利子 田上 麻理 デラクルーズ 有里 石井 由紀子 ヘプファー 文美 山田 健 奥田 正博 Danielle Hagen	2019年 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 永橋 春美 渡部 麻利子 中村 むつみ 田上 麻理 デラクルーズ 有里 Justine Selene 石井 由紀子	2018年 片桐 恵美子 コールファクス とよ子 力武 哲哉 江間 智子 大久保 恵子 プール 由紀子 永橋 春美 渡部 麻利子 中村 むつみ 田上 麻理 デラクルーズ 有里

グアム補習授業校創立五十周年記念

未知標

「未知標（みちしるべ）」
題字揮毫・佐藤 康隆

発行年月 二〇二三年三月 発行

編集 五十周年記念事業委員会

編集協力 グアム補習授業校

編集協力 AQUA MIND GUAM CORPORATION

発行 グアム補習授業校 P T A

170 Terao Street Mangilao, Guam 96913, USA

+1 671-734-8025

ghoshuko@gmail.com

印刷製本 オリンピア印刷株式会社

資料出典 日本人学校補習授業校「20年の歩み」

グアム補習授業校35周年記念「繋」

機関誌「かえん樹」

文集「こゝなつ」

写真で綴るグアム日本人会30周年記念誌

「グアムの歴史」

「グアム観光の歴史」

公益財団法人日本漢字能力検定協会

Google Maps

